



■組立てされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲注意**

●型材切断面でケガをするおそれがありますので、ロック側縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。

■組立て上のお願い

- 中棧付きのガラスは、上用下用でサイズが異なります。間違えないように組立ててください。
- ガラス寸法はダンボール又はカタログをご覧ください。
- グレイジングチャンネルは別売りです。ガラス厚に応じて選択してください。（腰パネルには、PGの場合は18mm用・SGの場合は3mm用をお使いください。）
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。
- 枠の組立て及び取付け・本体の吊込みは、「枠組立て説明書」「取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書及び丁番に同梱のワッシャーは必ず施工される方へお渡しください。
- 本体を枠に吊込んだ状態で運搬しないでください。枠が変形し、ドアの開閉に支障がでるおそれがあります。
- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$  { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。

■組立てねじ・部品一覧表

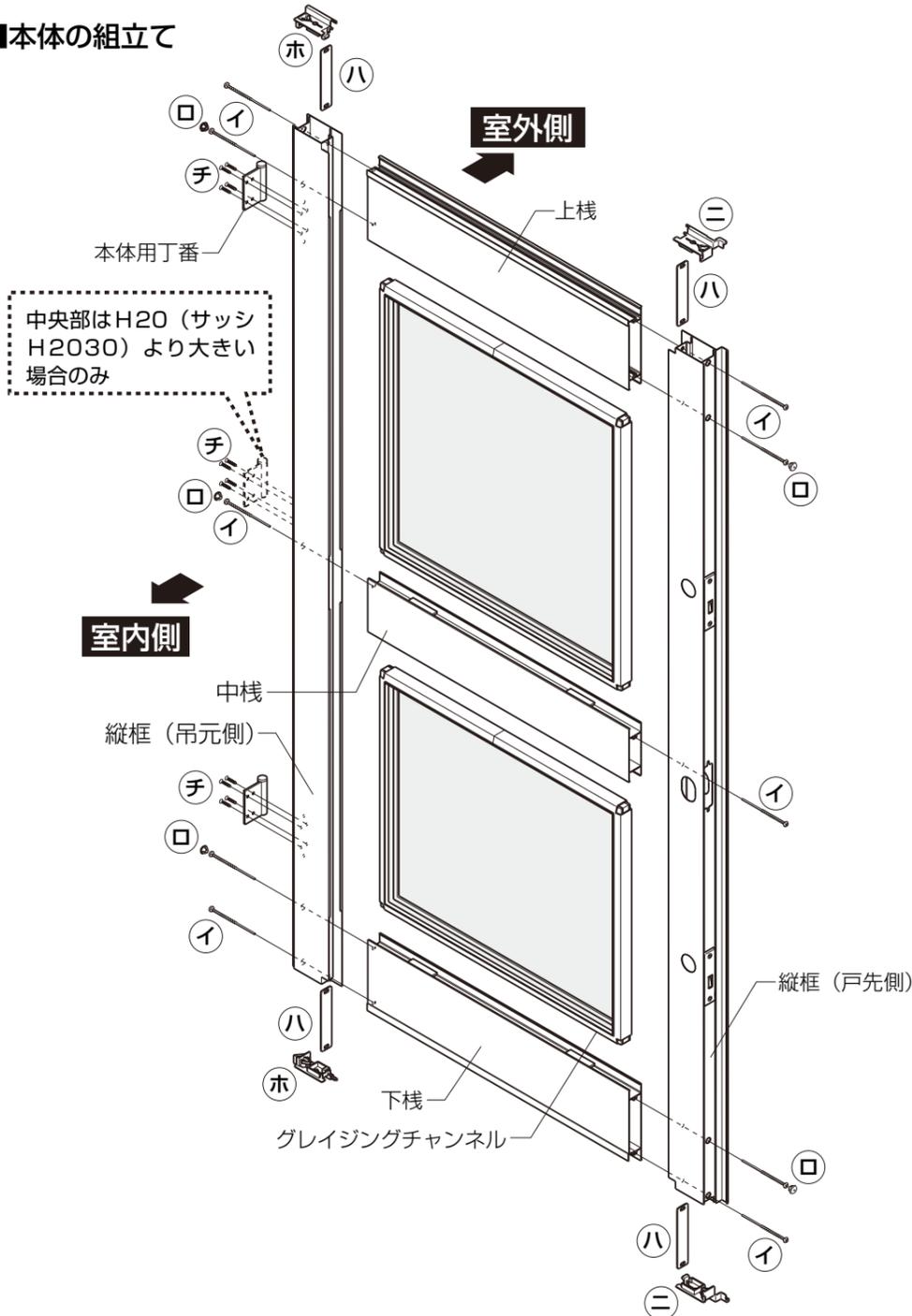
記号	イ	ロ	ハ	ニ
姿図				
	ナベタッピンねじ φ5×80	プッシュボタン φ10	座金	戸先框キャップ
記号	ホ	中棧付きにのみ同梱		丁番に同梱
姿図	吊元框キャップ	ハサミナット	皿タッピンねじ φ4×12	皿小ねじ M4×16

■組立て順序

■1 本体の組立て

- ※図は中棧付きで示しています。  
1枚ガラスの場合は中棧はありません。
- ①ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル（別売り）を用意し、ガラス四方にまわします。  
※コーナー部はカッターなどで切込みを入れてください。
  - ②上・中・下棧にガラスを差込みます。  
※上・中・下棧の両端からガラスが均等に出るようにしてください。
  - ③左右縦框を差込みます。
  - ④縦框の中に座金を入れ、上・下棧のタッピングホールに位置を合わせ、本体組立てねじを差込み締め込みます。
  - ⑤中棧に本体組立てねじを差込み締め込みます。
  - ⑥プッシュボタンを取付けます。
- ※組立てた本体のW寸法が、中央部のみ大きい場合は、必ず矯正してください。

■本体の組立て



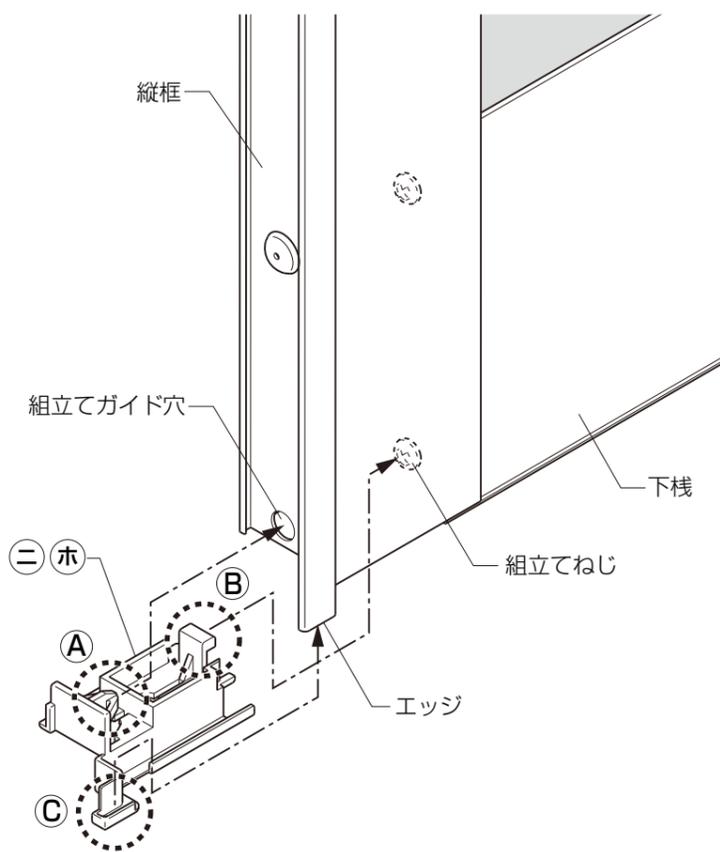
## 2 框キャップの取付け

※框キャップには、左右上下の使い分けがあります。確認のうえ使用してください。

- ① 框キャップの(A)部を縦框の組立てガイド穴に、(B)部を組立てねじの頭に、(C)部をエッジ部分に合わせ、「パチン」と音がするまで押し込みます。
- ② 手で引いて、外れないことを確認します。

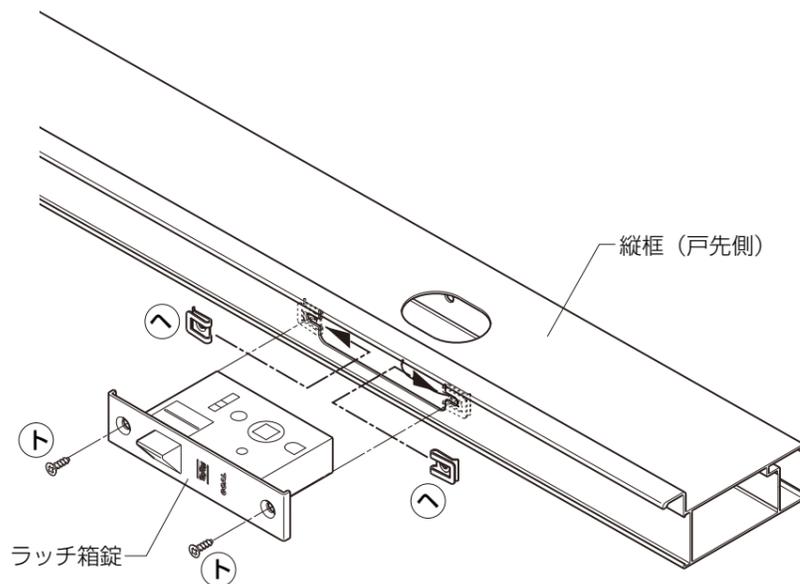
### ▲ 注意

● 型材切断面でケガをするおそれがありますので、縦框（上・下）には同梱の框キャップを必ず取付けてください。



## 3 ラッチ箱錠の取付け（中棧付きの場合）

※中棧付きの場合は、本体組立て後ハサミナットを差込み、ラッチ箱錠を縦框（戸先側）の切欠きに入れてねじ止めしてください。



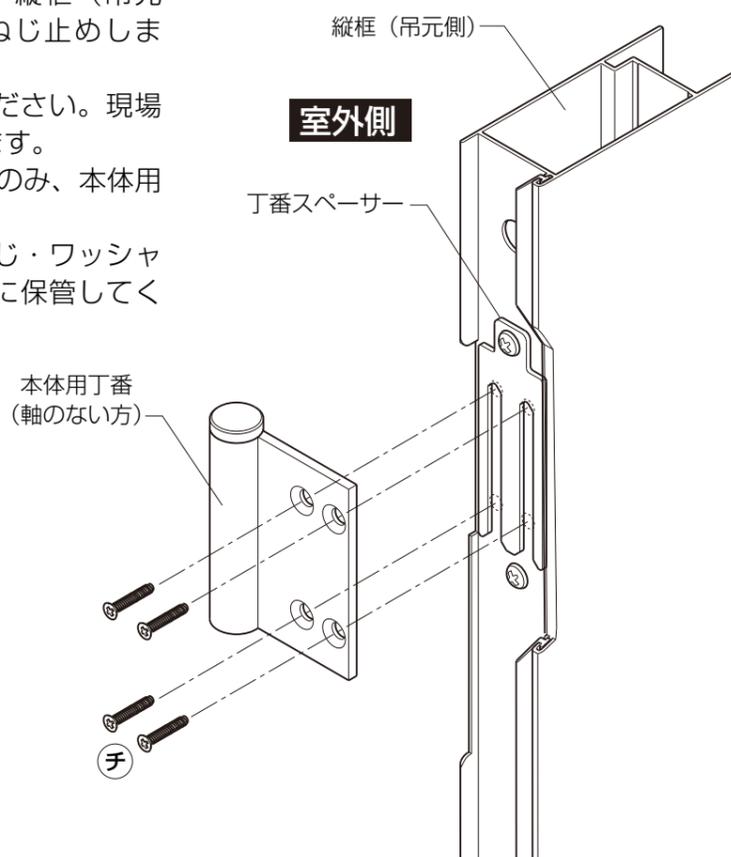
## 4 本体用丁番の取付け

● 本体用丁番（軸のない方）を、縦框（吊元側）の丁番スペーサーの上にねじ止めします。

※ 丁番スペーサーは外さないでください。現場での建付け調整ができなくなります。

※ 在来工法でH20より大きい場合のみ、本体用丁番を3枚使用します。

※ 枠用丁番（軸付き）・取付けねじ・ワッシャーは、枠の組立てまでなくさずに保管してください。



※ 本体組立て後に保管する場合は、本体フィンに重量がかからないよう木などを当ててください。

